

株式会社 日本宝くじシステム

I 法人の概要（令和7年4月1日現在）

- 1 所在地 東京都中央区京橋二丁目5番7号 日土地京橋ビル
- 2 設立年月日 平成4年5月1日
- 3 代表者 代表取締役社長 青木 信之
- 4 資本金 134,000 千円
- 5 北九州市の出資金 2,000 千円（出資の割合 1.5%）
- 6 役員員数

| | 人 数 | | | |
|-----|------|-----------|---------|-------|
| | 合 計 | うち本市からの派遣 | うち本市退職者 | うちその他 |
| 役 員 | 7 人 | 0 人 | 0 人 | 7 人 |
| 常 勤 | 3 人 | 0 人 | 0 人 | 3 人 |
| 非常勤 | 4 人 | 0 人 | 0 人 | 4 人 |
| 職 員 | 28 人 | 0 人 | 0 人 | 28 人 |

II 令和6年度事業実績

1 数字選択式宝くじ等売上の概況

数字選択式宝くじ等については、全体で約3,923億円の売上を確保することができた。

また、「ジャンボ」などの“紙くじ”を含めた宝くじ全体の売上総額は約7,598億円で、数字選択式宝くじ等の占める割合は51.6%となった。

商品別では、「ロト6」の売上が、49億円減、「ナンバーズ」は、48億円減となり、その他の商品も前年度売上げを下回り、全体の売上げとしては、138億円減（前年度比3.4%減）となった。

数字選択式宝くじ等売上の推移

（単位：百万円）

| | 令和5年度 | 令和6年度 | 増減額 | 増減率 |
|-----------|---------|---------|---------|-------|
| ナンバーズ | 78,929 | 74,100 | ▲4,829 | ▲6.1% |
| ミニロト | 27,702 | 27,307 | ▲395 | ▲1.4% |
| ロト6 | 156,052 | 151,187 | ▲4,865 | ▲3.1% |
| ロト7 | 115,006 | 112,410 | ▲2,596 | ▲2.3% |
| ビンゴ5 | 13,295 | 12,930 | ▲365 | ▲2.7% |
| 着せかえクーちゃん | 616 | 597 | ▲19 | ▲3.1% |
| クイックワン | 14,478 | 13,731 | ▲747 | ▲5.2% |
| 合 計 | 406,079 | 392,264 | ▲13,815 | ▲3.4% |

※単位未満四捨五入、端数未調整

2 その他

(1) システムの運用、改善

日々の稼働状況を常時監視しながら、システムの安定運用に努め、概ね順調に稼働している。

(2) 販売網の状況

発券端末機については、令和7年3月末時点で全国に5,072台設置しており、チャネル別の販売シェアは54.2%であった（前年度に比べ発券端末機は229台の減）。

また、金融機関ATMを活用した販売については、令和7年3月末時点で都市銀行及び地方銀行の28行、8,001ヶ所でも取り扱っており、チャネル別の販売シェアは5.4%であった（前年度に比べ拠点数は129か所増、販売シェアは0.2%減）。

インターネット販売におけるチャネル別シェアは、40.1%となった（前年度から2.4ポイント増）。コンビニエンスストアにおけるチャネル別の販売シェアは、前年度と同じ0.3%であった。

(3) 次期システム更改

令和8年1月のシステム更改に向け、令和5年4月に契約締結した日本電気株式会社（センターシステム）及び株式会社日立製作所（発券端末機／ヘルプデスクシステム）と、それぞれプログラム設計・製造のほか一部のテスト作業を進めており、今後も引き続き、事業者間の連携を図りながら残りのテストのほか、試験運用等を着実に実施していく。

(4) 新商品・販売促進策の検討

令和4年4月から発売開始した「クイックワン」については、「ポストコロナを見据えた令和時代の宝くじのあり方研究会」の報告等を踏まえ、新たなゲームコンテンツの作成や回号期間・単価パターンの見直し等、販売促進に努めている。

また、令和7年1月からのロト7の1等最高当せん金額の引き上げの実施に際し、関係各所とテストを行うなど、システム面で必要な対応を行いました。

引き続き、数字選択式宝くじの一層の発展に向けて、現状分析や意向調査、海外先進事例の情報収集などを実施していく。

Ⅲ 令和6年度決算

1 貸借対照表

令和7年3月31日現在（単位：千円）

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|------------|---------|---------------|---------|
| I 流動資産 | 22,182 | I 流動負債 | 3,989 |
| 現金及び預金 | 1,058 | 預り金 | 710 |
| 貯蔵品 | 14 | 未払金 | 4,072 |
| 前払保険料 | 255,612 | 未払法人税等 | 8,808 |
| 前払費用 | 491 | 未払消費税 | 682,110 |
| 前払金 | 230 | 流動負債合計 | 699,688 |
| 未収金 | 275 | Ⅱ 固定負債 | 0 |
| 未収収益 | 548,257 | 固定負債合計 | 0 |
| 流動資産合計 | 828,120 | 負債合計 | 699,688 |
| Ⅱ 固定資産 | | 純 資 産 の 部 | |
| 1 有形固定資産 | | I 株主資本 | |
| 機械及び装置 | 3,065 | 資本剰余金 | 134,000 |
| 器具及び備品 | 28 | 資本剰余金 | 0 |
| 有形固定資産合計 | 3,093 | 利益剰余金 | 86,531 |
| 2 無形固定資産 | | 任意積立金 | 80,000 |
| 電話加入権 | 1,328 | 繰越利益剰余金 | 6,531 |
| 商標権 | 9,660 | (うち当期純利益 275) | |
| 無形固定資産合計 | 10,987 | 純資産合計 | 220,531 |
| 3 投資その他の資産 | | | |
| 敷金・保証金 | 53,609 | | |
| 繰延税金資産 | 24,409 | | |
| 投資その他の資産合計 | 78,018 | | |
| 固定資産合計 | 92,099 | | |
| 資産合計 | 920,218 | 負債・純資産合計 | 920,218 |

2 損益計算書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日(単位：千円)

| | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| I 営業収益 | 5,410,700 | システム事務委託費 | 1,776,304 |
| システム運用収入 | 1,174,306 | 通信機械保守託費 | 1,155,163 |
| 端末使用料収入 | 6,585,006 | 機械業務委託費 | 360,907 |
| Ⅱ 営業費用 | | 業務広告宣伝費 | 820,903 |
| 営業役員給与 | 50,199 | 顧問料 | 396 |
| 給与手当 | 198,990 | 雑減価償却費 | 10,701 |
| 給与負担金 | 73,400 | 営業費用 | 583 |
| 退職手当 | 4,100 | 営業利益 | 4,472 |
| 福利厚生費 | 0 | | 6,584,231 |
| 旅費交通費 | 37,542 | Ⅲ 営業外収益 | 775 |
| 人研費 | 6,488 | 受取利息 | 127 |
| 旅交費 | 32,094 | 雑業外収益 | 576 |
| 会議費 | 113 | 営業外収益合計 | 704 |
| 交通費 | 20,606 | Ⅳ 営業外費用 | |
| 会議費 | 375 | 雑業外費用 | 313 |
| 図書費 | 1,957 | 営業外費用 | 313 |
| 光熱費 | 3,573 | 経常利益 | 1,166 |
| 賃借料 | 43,261 | 税引前当期純利益 | 1,166 |
| 借入料 | 1,229 | 法人税等 | 4,072 |
| 借入金 | 426,032 | 法人税等調整額 | 850 |
| 借入金 | 1,534,181 | | |
| 借入金 | 485 | 当期純利益 | 315 |
| 借入金 | 73 | | |
| 借入金 | 14,366 | | |
| 借入金 | 5,737 | | |

※端数処理の関係で合計が合わない場合があります

Ⅳ 役 員 名 簿

令和 7 年 8 月 29 日現在

| 役 職 名 | 氏 名 | 備 考 |
|---------|-----------|-------------|
| 代表取締役社長 | 青 木 信 之 | |
| 代表取締役専務 | 加 松 正 利 | |
| 代表取締役常務 | 小 室 一 人 | |
| 取 締 役 | 中 之 蘭 善 明 | 兵庫県財務部長 |
| // | 坂 本 隆 哉 | 北海道総務部長 |
| 監 査 役 | 稲 波 良 幸 | 京都市行財政局財政室長 |
| // | 東 宣 行 | 福岡県総務部長 |